

## 【I】

### ◆カンツォン・プリマ

G.フレスコバルディ

### ◆コントラプンクトI

(フーガの技法 BWV1080 より)

J.S.バッハ

### ◆妖精の女王

H.パーセル

## 【II】

### ◆おお、大いなる神秘

T.L.de ビクトリア

### ◆アラ・ブレーヴェ・エ・スタッカート

(プレリュードとフーガ ト長調 BWV550 より)

J.S.バッハ

### ◆ホルン協奏曲第1番

W.A.モーツァルト

### ◆Dona nobis pacem

for recorder ensemble

「平和をわれらに与えたまえ」

丸尾喜久子

混声合唱団 Coro Vista 指揮:吉田 稔

### ◆If ye love me

Thomas Tallis

### ◆Miniwanka

R.Murray Schafer

～休憩～

## 【III】

### ◆ダニー・ボーイ(ロンドンデリー・エア)

アイルランド民謡/木村知之編曲

### ◆バラード・ブルース・リフス

A.チャリンジャー

### ◆古いハンガリーの12の歌と踊り

C.ブレスゲン

## 《曲目解説》

## 【I】

### カンツォン・プリマ

G.フレスコバルディ (伊 1583~1643)

フレスコバルディは初期イタリア・バロックの作曲家・オルガン奏者です。彼は鍵盤楽器用のトッカータ、リチェルカーレ、カンツォーナの形式を確立して、後のトリオ・ソナタやフーガへの発展に寄与しました。

本日演奏するカンツォン・プリマはフランス風カンツォンとも呼ばれ、フレスコバルディ特有の緩急織り交ぜた曲趣で、多くの器楽奏者たちがこぞって取り上げています。

### コントラプンクトI

(フーガの技法 BWV1080 より)

J.S.バッハ (独 1685~1750)

「フーガの技法」はJ.S.バッハがその最晩年に対位法の技法を集約して作曲した作品集で、演奏に約90分を要する至高の作品です。バッハは生涯における全ての作曲技法をこの作品に織り込むべく48年から着手するも、49年より視力をほとんど失い、「フーガの技法」は未完のまま翌50年逝去したため、後に息子のC.P.E.バッハが遺稿を出版しています。

バッハの自筆譜には楽器指定は無く、現在も様々な楽器編成で演奏され続けています。本日は原形主題による単純フーガである第1番を演奏します。

### 妖精の女王

H.パーセル (英 1659頃~1695)

パーセルは17世紀に活躍したイギリスの作曲家です。僅か36年の生涯を終えるまでに、ウェストミンスター寺院や王室礼拝堂などのオルガン奏者を歴任すると同時に、祝賀音楽や劇場の付随音楽、合唱曲などを作曲して名声を高め、国王付きの音楽家にまで登りつめました。

「妖精の女王」の原作はシェイクスピアの「夏の夜の夢」で、この作品は本来「セミ・オペラ」であり、セリフが重要な役割を担いますが、最近では音楽のみ演奏されることが多いようです。

## 【II】

### おお、大いなる神秘

T.L.de ビクトリア (西 1548~1611)

ビクトリアはルネサンス音楽の大作曲家の一人で、モラレス、グレッコを継ぐスペイン宗教楽派の最高峰と位置付けられています。

「おお、大いなる神秘」は、ビクトリア最初の声楽曲集の中の一曲で、処女マリアからキリストが誕生したことを賛美するモテットです。本日はテノールからコントラバスまでの低音楽器で男性陣が演奏します。

おお、大いなる神秘、この驚くべき秘蹟、羊たちは飼葉桶に寝ている主を見た。おお、恵みに満ちた童貞、主キリストは生まれた。アレルヤ、アレルヤ

### アラ・ブレーヴェ・エ・スタッカート

(プレリュードとフーガ ト長調 BWV550 より)

J.S.バッハ (独 1685~1750)

プレリュードとフーガ BWV.550 からフーガを取り上げます。バッハ 27,8歳の頃の非常に軽快な作品です。原曲はト長調のオルガン曲ですが、本日はソプラニーノからテノールまでの高音楽器で女性陣が演奏します。

### ホルン協奏曲 第1番

W.A.モーツァルト (奥 1756~1791)

モーツァルトは、独奏ホルンと管弦楽のためにホルン協奏曲を複数残しています。一般的には第1番から第4番までの4曲ですが、ほかにも未完成の断章がいくつかあります。

第1番は、モーツァルトの友人でホルンの名手であったヨーゼフ・ライトゲープのために作曲されたといわれています。原曲はニ長調ですが、本日はリコーダー用に編曲されたものを演奏します。

### Dona nobis pacem

for recorder ensemble

「平和をわれらに与えたまえ」

丸尾喜久子

tutuの定期演奏会では毎回、丸尾喜久子氏の作品を演奏するのが恒例となっています。

Dona nobis pacemはグレゴリオ聖歌にインスピレーションを得てルネサンス音楽風に作られたもので、作曲者のセンスが散りばめられた、純正調の和声を堪能できる作品となっています。本来は合唱用に作曲され、リコーダーアンサンブルでの演奏は本日が初演となります。

### If ye love me(私を愛するならば)

Thomas Tallis (英 1505~1585)

英国の作曲家トマス・タリスによる英国国教会用英語作品の代表作のひとつ。言葉はヨハネによる福音書14章15節から17節を使用している。

### Miniwanka

R.Murray Schafer (加 1933~)

カナダを代表する現代音楽の作曲家で、サウンド・スケープ(音風景)の提唱者であるレーモンド・マリー・シェーファーの代表作。一滴の雨粒から始まる水の一生を題材とした作品で、図形楽譜が用いられている。自然界の音を声で表現し、色彩感に溢れ、音があたかも呼吸するような立体的な作品。

## 【III】

### ダニー・ボーイ(ロンドンデリー・エア)

アイルランド民謡/木村知之編曲

ダニー・ボーイは、ロンドンデリーの歌として古くから歌われてきた名曲です。有名な歌詞はイングランドの弁護士フレデリック・ウェザリーの作といわれています。“両親や祖父母が、戦地に赴く息子や孫を送り出す”という設定で解釈されることも多いようです。

今回はジャズ演奏家によるリコーダー編曲で演奏します。

### バラード・ブルース・リフス

A.チャリンジャー (英 1950~)

チャリンジャーはイギリスの作曲家・演奏家・リコーダー指導者として今も活躍しています。「バラード・ブルース・リフス」は最初に出版された作品で、リコーダーの特徴を効果的に活かした内容となっており、今でも大変人気がある作品です。

### 古いハンガリーの12の歌と踊り

C.ブレスゲン (奥 1913~1988)

ブレスゲンはオーストリアの作曲家で、ザルツブルグに音楽院を建てたり、終戦後にはオルガン奏者や聖歌隊指揮者として活躍した人です。

「古いハンガリーの12の歌と踊り」はインド起源のジブシー音楽に由来し、チャルダッシュのようにテンポや強弱の急激な変化、独特な音階、意味のない囁き言葉や掛け声などが多彩に織り交ぜられた民族色豊かな作品です。

各曲の題名は以下の通りです。

- 1.私は魔法なんか使って盗んだりしない
- 2.森の奥深くで  
神よ、私を懲らしめないでください
- 3.オイ・ホイ・レド・ドイ
- 4.神よ、私の進むべき道を教えてください
- 5.ねえ、白鳥さん
- 6.踊りの歌 タナーナ・ナイ・ナイ
- 7.踊りの歌
- 8.汽車には曳き柄がない
- 9.春だ!
- 10.主なる神よ
- 11.踊り
- 12.これぞジブシー  
主よ、あなたは何をなさったのか?



### ～ごあいさつ～

アンサンブル tutu は、1969 年に教員の研究組織として発足し、49 年の活動歴を持つアマチュアのリコーダー合奏団です。大阪府豊中市を中心に、発足時のメンバーに加え、今では職種や年齢も様々なメンバーが集って活動しています。

tutu という名前はリコーダー奏法のタンギングに由来します。

今回は「リコーダーと声楽の出会い」と題しまして、混声合唱団 Coro Vista の皆様をお迎えし、リコーダーと声楽とのアンサンブルを含め、ルネサンスから現代曲まで幅広くプログラムを組みました。

スタンドグラスの美しい由緒ある教会で、音楽のひと時を皆様と共有できますことは、私達もこの上ない喜びです。どうぞお愉しみてくださいませ。

アンサンブル tutu 一同

### ～アンサンブル tutu の歩み～

- 1969 年 豊中市教員実技研修団体「アンサンブル tutu」の名称で発足。
- 1971 年 第 1 回定演を大阪駅前第 1 ビル、モーツァルトサロンで行って以来、現在までに 17 回の定演を行う。
- 1974 年 「リコーダーアンサンブルの集い」一般の部で最優秀賞を受賞（朝日放送主催）。
- 2000 年から 8 年間、4 回にわたり「日韓交流リコーダー演奏会」を韓国・釜山、豊中間の相互訪問により実施。
- 2010 年 第 16 回定演 兵庫県立芸術文化センター小ホール
- 2013 年 第 17 回定演 池田市逸翁美術館・マグノリアホール
- 2016 年 リコーダーフェスティバル出演（全日本リコーダー教育研究会大阪支部主催）
- 2017 年 ミニコンサート 豊中市立中央公民館
- 2018 年 第 18 回定期演奏会 カトリック夙川教会

【混声合唱団 Coro Vista】2017 年 4 月誕生。指揮：吉田稔、音楽監督：丸尾喜久子。

「吉田稔発声メソッド」、「声と打楽器の即興音遊び」等をしながら素敵な音空間創りを目指しています。顕川美術館コンサート、豊中市合唱協会合唱の夕べに出演、宝塚国際室内合唱コンクール無差別級に出場。『はつしぐれ』（松尾芭蕉・丸尾喜久子）等を演奏している。主な活動場所は豊中市立中央公民館。現在団員募集中です。お問い合わせ：[makiru3@gmail.com](mailto:makiru3@gmail.com) まで。

### 【賛助出演】

Cemb,Perc：丸尾喜久子

Vo：河村光子・小野恵子・藤本涼子

混声合唱団 Coro Vista 指揮：吉田 稔

### 【アンサンブル tutu メンバー】

金 秀賢・酒井祥子・有馬あやか・片山恵子  
城野寿夫・西口信幸・長尾 宏・西村 要

### ♪メンバー募集中♪

一緒にリコーダーアンサンブルを楽しみませんか？ご見学も歓迎いたしますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

ホームページ <https://ensemble-tutu.jimdo.com>

リコーダーアンサンブル

**Ensemble tutu**

**第 18 回 定期演奏会**

～リコーダーと声楽の出会い～

2018 年 11 月 17 日 (土)

14:00 開演 (13:30 開場)

カトリック夙川教会